

工事写真撮影確認事項

【基本原則】「どこを・何を・どうしたか」が後から誰でもわかるように撮影する

・「施工前・施工中・完成」を同じ位置・同じ角度から撮影する。

・完成後に見えなくなる隠蔽部（下地・配管・断熱材など）は必ず記録に残す。

1. 撮影の基本ステップ

工程	撮影内容	注意点・ポイント
1. 施工前	・ 部屋全体の全景 ・ 既存の傷・劣化箇所・設備品番	・ 工事範囲全体が入る角度で撮影 ・ 既存の傷等は着工前に記録しておく
2. 施工中	・ 養生状況 ・ 解体後の下地・構造 ・ 給排水配管 / 電気配線 ・ 防水処理 / 断熱材敷設	・ 完成後「見えなくなる場所」を重点的に ・ 配管勾配や寸法はスケール（メジャー）をあてる ・ 暗い場所はライト等で明るく撮影
3. 完成	・ 部屋全体の全景（施工前と同位置） ・ 設置機器・内装の仕上がり ・ 通水・動作確認状況	・ 施工前と同じアングルで対比できるようにする ・ 傷や汚れがないクリアな状態で撮影

2. 撮影時のチェックリスト

- 黒板の記載：工事名・撮影箇所・工種・撮影日が明記されているか？
- 画角（構図）：全景（全体像）と近景（アップ）のセットで撮れているか？
- 鮮明さ：手ブレ・ピンボケ・暗がりがないか？（フラッシュ活用）
- 整理整頓：余計な工具やゴミが写り込んでいないか？